今夜、継母を犯します

父の再婚相手は美人でグラマーな若い女(ひと)だった…

その女(ひと)の事を母だと思う事は出来なかった…

一匹のメスにしか見えなかった…

SS付きCG集

M.I.G. Matsu Industrial Gesellschaft

CREATED BY MIG

「あ、あなた、いいのよ、悪いのは空気読めない私なんだから、ね、叱らないで、おねがい」

そう言って俺を庇って親父を宥める彼女は、そう、俺の母親だ。
と言っても、ほんの数か月前に親父が急に再婚して
いきなり出来た継母だ。
彼女は、親子というよりも姉弟と言ってもいいくらい若く、
明るく元気で溌剌としていて女の魅力にあふれていた。

確かに最初のうちは戸惑ってどう接していいのか判らず、
それに、あまりにも若くて美人だったので照れ隠しで
素っ気ない態度をとってしまってそれ以来、何となく冷たい態度で
接するようになってしまったが、実際は彼女の事を俺は嫌ってなんか
いなかった。
寧ろその逆で、彼女に男としての好意を抱いているくらいだ。
それが困るんだよ…だから、それを気取られまいと
余計にわざと素っ気ない態度をとってしまうんだ。

SAMPLE

程なく、継母(はは)が悲し気な表情で寝室から出てきた。
その寂しさを漂わせながらも妖艶な表情は、もう大分長い間、
夫婦の夜の営みがなく若く熟れきった体を持て余しているのが
ありありと見て取れる。
この様子ではきっと今夜も自分を慰めるだろう。
こっそりと様子を窺っていると継母(はは)はトイレへと入って行った。
やっぱりだ、今晩もトイレでオナるつもりだ！

親父はもう継母(はは)の体に飽きたのだろうが、
しかし継母(はは)の方はそれで治まる筈もなかった。
はち切れんばかりの瑞々しい若い肉体を持て余し、親父に相手に
されない欲求不満を真夜中のトイレでオナって解消していた。
ギシアンがオナ声に変わっただけで結局、俺はやつらのせいで眠れぬ
夜を過ごす羽目になっていた。
どうせ悶々として眠れないならと始めた親父達の夜の営みの盗み聞ぎが
今ではすっかり日課になってしまったという訳だ。

SAMPLE

「あああ、私のせいでこんなにさせちゃったのね…
ああ、ごめんなさい、私、ちっとも気付かなかったわ…」
そういうと遂に俺のイチモツに手を伸ばして
そっと優しく手に包むように握った。
そりゃそうだ、普通、義理とは言え息子が
継母に欲情してイチモツをギンギンにしてる
だなんて判る訳がないし気付く方が可笑しい。
だが、欲求不満を募らせてた上にイク寸前だったオナニーを
中断させられて体が切なくって堪らなくなっている所に、
欲しくて欲しくて堪らないオスのイチモツが現れたら細かい事なんか
考えられなくなっても仕方がない。
今この女の頭の中は俺のイチモツの事で
いっぱいだろう。

「お願いだよ…苦しいんだ…
これ以上は頭が可笑しくなっちゃいそうだよ…」
俺が涙声でそう訴えると遂に
継母(はは)の理性は消し飛んだ。

SAMPLE

「うわぁスゲェ！なんて下着付けてんだよ、変態かよアンタ！」

そう言って継母の太腿を掴むと
ぐいっと持ち上げて便器の上で
股間を晒した格好にさせた。

いやらしい笑いを顔にへばりつけながら
そう詰ってやると継母(はは)は顔を
真っ赤にさせてモジモジと恥ずかしがった。

「いやぁ、見ないでぇ…
恥ずかしいぃ…
こんなの…酷いわ…」

SAMPLE

俺が起きたのに気づくと
チ〇ポから口を放し潤んだ目を向けた。
「おはよう、もうお寝坊さんね、
こっちはこんなに早起きなのに…
お父さんもう出かけちゃったわよ」
SAMPLE

一糸まとわぬ姿で継母(はは)をベッドに寝かせると
大股を開かせてあられもない格好にさせた。

「どうしてほしいんだ？
ハッキリと言ってみなよ、ちゃんと
言えたらその通りにしてやるから」

俺は命令するように
高圧的に言い放った。

「ここに、オマ〇コに
オチンチンをちょうだい、
アナタのオチンチン入れて欲しいのぉ、
入れてぇ、オマ〇コずぼずぼしてぇ！」

と大きな声で答えた継母(はは)の
その部分はもうすっかり大洪水に
なっていて肉壺からは凄い量の淫汁が
噴き出していた。
なんだよ、ノリノリじゃねぇか、よっぽど
シたくてたまんなかったんだな。

SAMPLE

「まだ終わりじゃないぜ、ケツ穴を
キレイにしたのはこれからここに俺の
モノをぶち込む為なんだからな」

そう言いながら床に顔を押し付ける
ようにして四つん這いにさせてて尻を
突き出させた。
その床には継母(はは)がケツ穴から
噴き出したやや茶色味を帯びたお湯が
流れていた。
小便も混じっていたに違いない。

自分が垂れ流した汚物に顔を押し付け
られながら継母(はは)は何かモゴモゴと
言ったがその声は弱々しくて聞き取れ
なかった。

SAMPLE